中学地理プリント（書き取り）
日本の自然・防災 No.17

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

得点 ／20

1. フォッサマグナの西側の境界線として知られる、北から南へ走る線状の断層帯を何という？
2. 海底で発生した地殻変動によって海面が急激に持ち上がり、沿岸に押し寄せる巨大な波を引き起こす自然現象の発生源を何という？
3. 地震の発生に伴って起こり、沿岸部に甚大な被害をもたらす巨大な波を何という？
4. 夏に親潮の影響で沿岸に発生し、北海道の太平洋側で農作物の冷害の原因となる霧を何という？
5. 沿岸部に津波が到達することを防ぐために築かれる、海からの波を食い止める壁状の構造物を何という？
6. 険しい地形の日本アルプスにおいて、かつて山頂付近を削り取ったとされるものは何という？
7. 河川の氾濫が発生した場合に、浸水が予測される区域のことを何という？
8. フィリピン沖から日本列島の南岸に沿って北上する、流れが速い海流を何という？
9. 地表を流れる水が地下に浸透しやすく、水はけのよい扇状地の土地を利用して作られる、農業形態を何という？
10. 北から流れる親潮と南から流れる黒潮がぶつかり、多くの魚が集まる豊かな漁場となる海域を何という？
11. 千島列島方面から南下する、水温が低い海流を何という？
12. 地球の表面を覆い、互いに押し合ったり沈み込んだりすることで地震の原因となる岩盤のことを何という？
13. 日本アルプスの山々が遮ることで、日本海側に大雪を降らせ、地域による気候の差を生み出す風を何という？
14. 入り組んだ海岸線が特徴のリアス海岸の穏やかな湾内で、カキやホタテなどを育てる産業を何という？
15. 入り組んだ海岸線が特徴で、津波が押し寄せた際に波が集中し、被害が拡大しやすい地形を何という？
16. フォッサマグナの内部に位置する、日本の最高峰の火山を何という？
17. 自然災害の被害範囲や避難場所などを地図上に示したものを何という？
18. 親潮のような寒流と、黒潮のような暖流がぶつかる海域のことを何という？
19. 扇状地の扇端部分において、地下水が湧き出し、昔から人々が生活の拠点としてきた場所を何という？
20. 日本アルプスを構成する3つの山脈のうち、飛騨山脈の別の呼び名を何という？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「日本の自然・防災」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.17 日本の自然・防災

言えた　／20

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	糸魚川静岡構造線（いといがわしずおかこうぞうせん）は、フォッサマグナの西側の境界線を指します。	糸魚川静岡構造線	□
2	海底で地震が起きると、海底面が急激に隆起したり沈降したりして海面を押し上げ、波となって周囲に広がります。	地震	□
3	津波は、海底で発生した地震によって地殻が大きく動き、それに伴って海面が押し上げられたり引き込まれたりすることで発生します。	津波	□
4	冷たい海の上で冷やされた空気が霧となり、沿岸へ流れ込む現象を海霧と呼びます。	海霧	□
5	防潮堤は、海からの浸水を防ぐための壁状の構造物です。	防潮堤	□
6	氷河は長期間かけて山を削り取り、カールと呼ばれる円状の窪地や、鋭い尾根を作り出しました。	氷河	□
7	浸水想定区域は、河川が氾濫した場合に、どれくらいの深さまで水が浸かる可能性があるかをシミュレーションして示した範囲です。	浸水想定区域	□
8	黒潮は非常に勢いが強く、温かい水を運ぶ暖流の代表です。	黒潮	□
9	この特性を利用して、日本では古くから傾斜地や扇状地で果樹栽培が盛んです。	果樹園	□
10	この2つの海流がぶつかり合う境界線の海域を潮目（しおめ）と呼びます。	潮目	□
11	親潮のように、高緯度から低緯度へ向かって流れる海流を寒流と呼びます。	親潮	□
12	プレート同士がぶつかったり、一方の下へ沈み込んだりする境界部分では、大きな力が発生します。	プレート	□
13	冬になると、大陸から吹いてくる冷たく乾いた季節風が日本海の上で水蒸気を含み、日本アルプスの山々にぶつかり、日本海側で雪となって降り注ぎます。	季節風	□
14	この穏やかな環境と、山から栄養分が流れ込みやすい地形条件を生かし、カキ、ホタテ、ワカメなどの養殖業が盛んに行われています。	養殖業	□
15	そのため、同じ津波でも、外洋に面した平坦な海岸よりも、リアス海岸の奥地の方が深刻な被害を受ける傾向があります。	リアス海岸	□
16	富士山は日本で最も高い山であり、その美しい円錐状の形から日本の象徴として知られています。	富士山	□
17	ハザードマップは、自然災害が発生した際に被害が想定される範囲や、避難場所、避難経路などを地図上に示したものです。	ハザードマップ	□
18	この境界部分を潮目と呼びます。	潮目	□
19	この「扇端」と呼ばれる地点は、古くから水を得やすく、集落が形成される中心地となってきました。	集落	□
20	日本アルプスは、北部の「飛騨山脈（北アルプス）」、中部の「木曽山脈（中央アルプス）」、南部の「赤石山脈（南アルプス）」という3つの山脈で構成されています。	北アルプス	□

言えなかった用語ノート